



学校だより No.5(夏休み前号)

加治木の風

「読書・あいさつ・あせ」
始良市立加治木小学校
令和2年7月29日

声なき声を大切に！

毎夏楽しみにしているかつての同僚との近況報告会もことごとく今年はコロナウイルスの影響で中止の連絡が入ります。心の中では、やむを得ないと感じながら、何か寂しさを感じないではいけないというのが正直な気持ちです。

思えば、私のような思いを1学期子供たちも感じ続けてきたことでしょう。5年生にとって仲間づくりや学校ではできない貴重な体験ができるはずだった宿泊学習も2学期に延期。6年生が修学旅行の事前学習として計画していたアドベンチャー遠足も県内のコロナウイルス感染者数の急増を受け急遽延期に。校内での行事も3密を避けるため、取りやめたり簡素化したりして実施。

子供たちの気持ちを考えると、この未曾有の事態が収束し、一刻も早い日常が戻って行くことを願わずにはられません。

一方で、子供たちも私たち教師も1学期の経験を通して強く感じたことがあります。それはこれまであまり意識していなかった家庭・地域・学校のありがたさ、日常の大切さ、支え合うことの大切さです。休業期間が明けて登校した子供たちは「早く友だちや先生に会いたかった。」と口々に話しました。学校は単に知識や技能を身に付けさせるだけでなく、日常性を維持し、心身の健康を守るという社会の中での大切な働きがあることを私たち教師も実感できたのです。逆に、非常時の子供たちの学びの機会をどう保障するのかという課題も見えました。

これから先の地域の行事等も中止の情報が入ってきます。学校の行事も状況を見ながら実施の有無や方法を検討していかなければならない状況です。

しかし、時間はかかるかも知れませんが、必ず日常は戻ってきます。希望と勇気の火は心の中に灯し続けたいものです。

1学期、このような厳しい中でも朝の登校を見守り声かけをしてくださる地域の方、私たち職員に明るくあいさつをしてくださる保護者の方に子供たちも職員も大きく勇気づけられました。**保護者、地域の皆様の御理解・御協力に改めて感謝申し上げます。**

これからも子供たち・保護者の方の声なき声を受け止めながら、教育活動の充実を図って参ります。



あなたのお子様は大丈夫？



だれでも気軽にインターネット上に書き込みや動画・画像のアップができる時代。不適切な書き込みや動画・画像のアップがもとで将来就職の内定が取り消されたり、保護者に多額の賠償請求がなされたりする事例もあります。また、犯罪に巻き込まれたりする可能性だってあるのです。

まもなく夏休みに入ります。スマホやゲームの利用については、家庭内ルールを今一度親子で確認し合い、しっかり守らせるとともに、子供がどのように使っているのか、保護者がしっかり確認することが大切です。よろしくお願ひします。

夏休みの子供たちの見守り、声かけをよろしくお願ひいたします。